



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

# 森林総合研究所 多摩森林科学園

Tama Forest Science Garden



# 科学園の概要

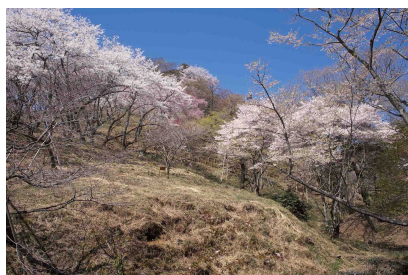
多摩森林科学園は、大正10年2月、宮内省帝室林野管理局林業試験場として発足しました。

現在は、森林・林業・木材産業に関する我が国の中核研究機関である森林総合研究所の支所の一つとして、都市近郊林が有する多面的機能を発揮させるための管理・利用技術の開発や、生物多様性、サクラの系統保存と利用に関する研究などを行っています。

また、森林総合研究所が蓄積してきた研究成果を基に、広く国民の皆様に森林・林業・木材産業についての理解を深めていただくための普及・広報活動を行うとともに、園内の樹木園・試験林・サクラ保存林等を活用して、研究資料の提供や研鑽の場として大きな役割を果たしています。

なお、サクラ保存林、樹木園については有料による一般公開を行っています。

## サクラ保存林・樹木園



約8haのサクラ保存林には、江戸時代以前から伝わる栽培品種や天然記念物に指定されたサクラのクローンなど、全国各地から集められた約1,800本のサクラが植栽されています。

また、約7haの樹木園には高木樹種を中心に500種、3,500本の樹木が植栽されています。他では見ることが少ない貴重な樹種もあります。

サクラ保存林、樹木園は年間を通して一般に公開され、特にサクラの開花時期には多くの人々に喜ばれています。

## 試験林



約40haの試験林には天然林も残されており、モミやスダジイ・ウラジロガシなど暖温帯林の常緑樹が優占していますが、ハリギリやカスミザクラなど冷温帯林の落葉樹も見られます。600種以上の植物が自生しており、東京近郊の森林としては自然度が高い状態が保たれています。

試験林はかつてはケヤキやテーダマツなど国内外の林業用樹種の植栽試験地として利用されてきましたが、現在では主に野生動植物を調査および保全する場として利用されています。

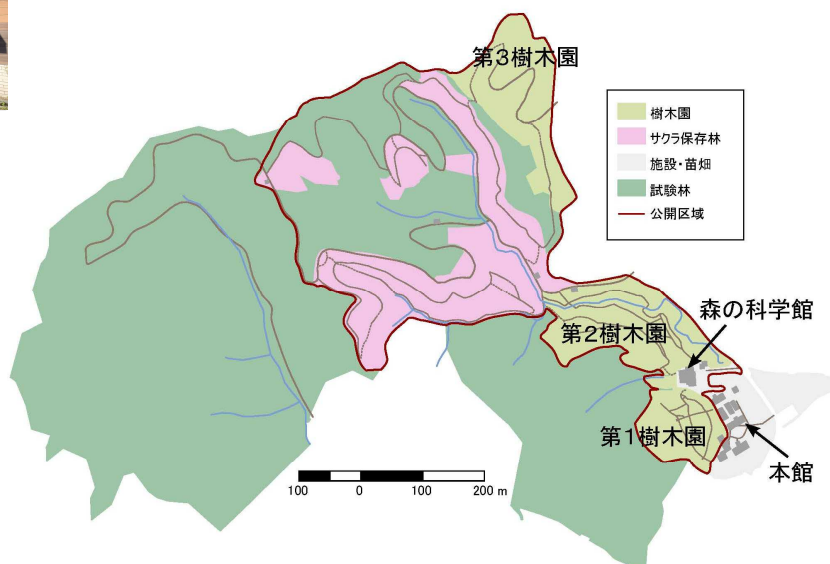
## 森の科学館



サクラ品種の系統解析や開花情報、また都市近郊林の生物の生態に関する研究成果などを展示して、森林に親しむための様々な情報を提供しています。

また森林総合研究所の研究トピックスを紹介し、森林・林業への理解を深める場としています。

## 園内図



# 研究の概要

## 『都市近郊林に関する研究』

多くの人口を抱える大都市及びその近郊地域に残された都市近郊林は、市民にとって最も身近な森林です。この都市近郊林を、植物の多様性や植生の自然度の視点から評価し、適切な管理のあり方を考えるための研究を行っています。また、研究から得た知見をもとに、現場の実情にあわせた現代的な管理による都市近郊林の保全を提案しています。さらに、より広域的・長期的な視点から、気候変動が植物種の分布に及ぼす影響についても研究しています。

都市に近接する森林は、人間生活の影響を受けながら奥山とは異なる独特の生物相を維持してきました。都市域に残された森林がもつ生物保全の場としての機能を明らかにするために、生息環境の変化に伴う昆虫相の長期的変遷や、昆虫と植物との相互作用について研究しています。

近年、イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマなどの大型野生動物の分布拡大や生息状況の変化に伴い、農林業被害、市街地への出没、人身被害などの問題が各地で顕在化しています。被害の発生要因や動物の行動特性を踏まえ、人と野生動物の共存を目指した総合的な対策のあり方を検討しています。

都市近郊林は、広く大人や子どもたちの健康づくり、レクリエーション、学びの場としても利用されてきました。さらに近年ではマウンテンバイク、トレイルランニング、アスレチック施設、森林レンタルなどの新たな活用方法も生まれています。このような社会の動きや課題を明らかにする人文・社会科学研究にも取り組んでいます。

## 『サクラに関する研究』

人々の目を楽しませる多摩森林科学園のサクラは、全国各地から収集された貴重な遺伝資源でもあります。サクラ保存林に多様なサクラを植栽し、また試験林内に野生のサクラが生育する多摩森林科学園は、各種のサクラ研究に好適な場所です。野生種と栽培品種との遺伝的関係の解明、開花時期の長期モニタリング、訪花昆虫の研究、接ぎ木や挿し木による増殖など、サクラ遺伝資源の保全と活用を図る取り組みを進めています。

これまでに報告されたサクラ類の病害は、2026年現在で60有余といわれています。これらの中には、サクラの種・栽培品種ごとに症状の表れる時期や程度などが異なるものがあることが解明されつつあります。地の利を活かしてサクラ類の病害の生理・生態的研究を行っています。



園内に設置した樹木学習教材  
「森のポスト」



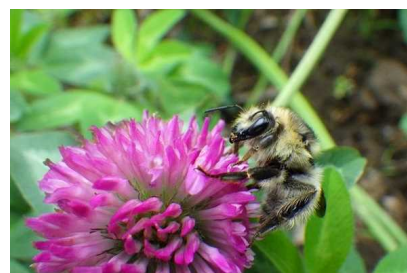
‘染井吉野’に発生したてんぐ巣病



伝統的な管理により維持されている多様性の高い里山林



管理されたヒノキの人工林試験地



アカツメクサを訪れるマルハナバチの一種



都市近郊に生息するムササビは来園者の人気者



DNA解析により、名前は異なるが、よく似たサクラを2タイプに整理

## 沿革

大正10年 2月 宮内省帝室林野管理局林業試験場として設立  
 昭和15年 1月 帝室林野局東京林業試験場に名称変更  
 昭和22年 4月 林政統一により農林省に移管、林業試験場浅川支場に名称変更  
 昭和32年 7月 林業試験場浅川実験林に名称変更  
 昭和63年10月 森林総合研究所多摩森林科学園に改編・名称変更  
 平成13年 4月 独立行政法人森林総合研究所多摩森林科学園に移行  
 平成27年 4月 国立研究開発法人森林総合研究所多摩森林科学園に名称変更  
 平成29年 4月 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所多摩森林科学園に名称変更

## 組織

森林総合研究所（茨城県つくば市）

北海道支所（札幌市）  
 東北支所（盛岡市）  
 関西支所（京都市）  
 四国支所（高知市）  
 九州支所（熊本市）  
**多摩森林科学園（八王子市）**  
 園長  
 総務課  
 業務課  
 チーム長（サクラ類病害担当）  
 教育的資源研究グループ



## 広報普及

**森林講座**（年10回程度開催）

森の科学館で森林総合研究所の様々な研究成果をわかりやすく解説します。

**特別観察会**（不定期開催）

園内外の講師により、森林の自然を学び、親しむ教室です。

**園内ガイドツアー**

森の案内人が樹木園やサクラ保存林で、森に棲む生物や自然について解説をする2時間ほどのガイドツアーです。

**館内展示および野外解説版**

森の科学館にてサクラや森の生物の解説、森林総合研究所の研究紹介を展示しています。また園内では野外解説版などの案内看板を設置しています。



森林講座



野外解説版  
（学習スポット）



●JR/京王 高尾駅北口から徒歩約10分

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

**森林総合研究所 多摩森林科学園**

とどろ

〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81

Tel: 042-661-1121 (代表)

Fax: 042-661-5241

<https://www.ffpri.go.jp/tmk/>

（見学問い合わせ：Tel: 042-661-0200）

2026.04 改訂

この印刷物は印刷用の紙へのリサイクルが可能です。